

大分県教育委員会の組織改正（平成22年度）

《本庁》

1 「総括調整監」（次長級）の新設

- ◆学校の安全・安心の確保や危機管理対策など教育長の命を受けた特定の事項に関し、庁内の各課室への指示や調整を行う次長級の「総括調整監」を新設し、教育庁の体制を強化。

2 「教育改革・企画課」の設置

- ◆教育改革推進体制の強化
「教育改革・企画室」と「総務課」を再編・統合し、教育庁の主管課として体制を拡充。改革の着実な実施に加え、政策立案機能を強化。
- ◆総合調整機能の強化
教育庁内の調整や県議会、市町村教育委員会等の対外的な調整機能を一元化することで、教育庁全体の総合調整機能を強化。

3 教育財務課に「情報化推進班」を新設

- ◆教育財務課の校務用（行政）ネットワークと教育センターの授業用（教育）ネットワークを一元的に管理・運用する「情報化推進班」を新設し、情報管理体制を強化するとともに、情報ネットワークを効率化。

4 体育保健課に「全国高校総体準備班」を新設

- ◆平成25年度に北部九州4県（大分、福岡、佐賀、長崎）合同により開催される全国高等学校総合体育大会の幹事県として「全校高校総体準備班」を新設し、開催に向けた体制を整備。

《教育機関》

1 総合体育館に指定管理者制度を導入

- ◆多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応し、住民サービスの向上と経費の節減等を図るため指定管理者制度を導入。

2 社会教育総合センターの2課体制を3課体制に再編

- ◆「研修企画課」を新設し、社会教育推進研修及び主催事業の総合的な企画調整機能を充実・強化。